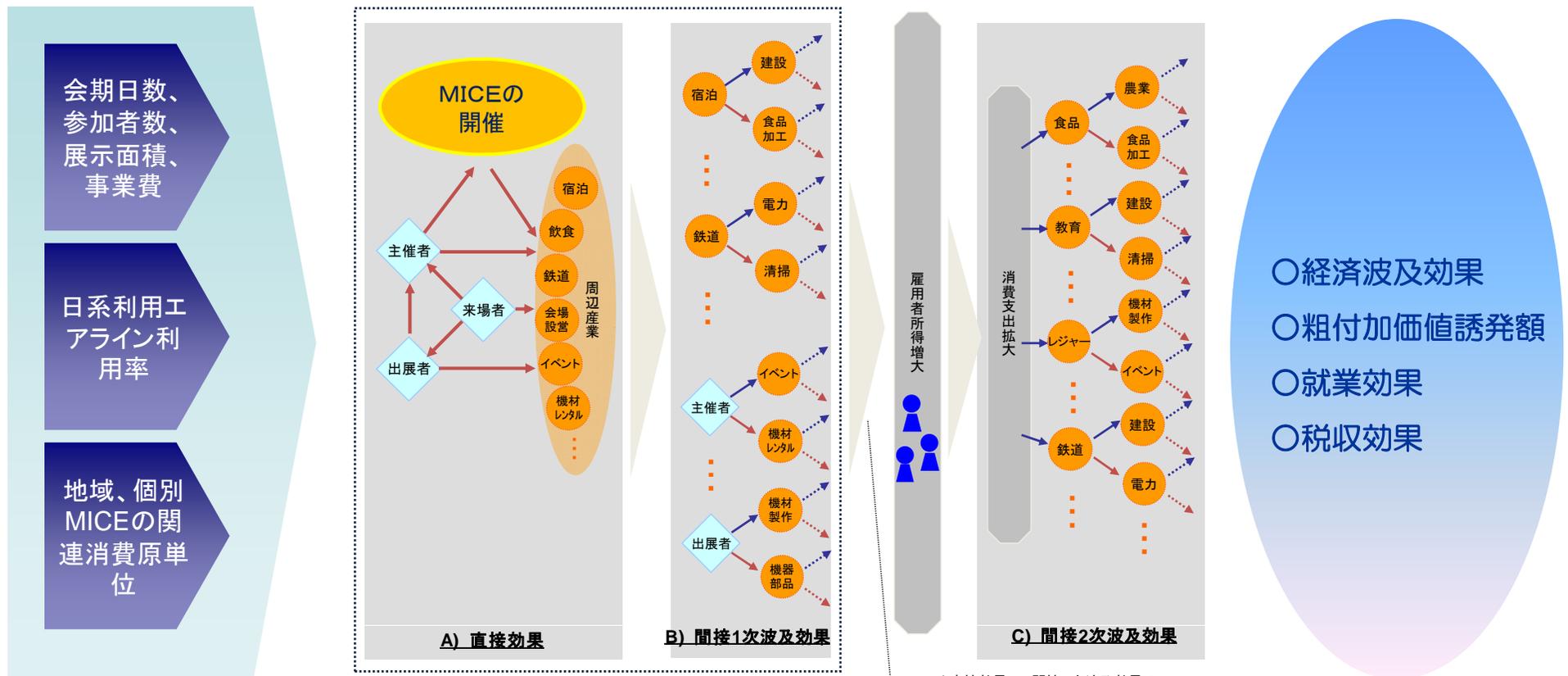


- MICEの経済波及効果は、MICE開催の企画立案や終了時の成果確認、さらにはMICEに関する政策立案に当たって活用すべき有力なデータであるが、算出には専門的な知見が必要なこともありデータに基づく議論が十分に普及していないのが現状であった。
- 観光庁では、こうした状況を改善するため、「MICE開催による経済効果を簡易的に測定するモデル」を一般に提供し、経済波及効果の利用に対する理解を広く促進してきた。

データ設定

MICEによる経済波及効果の把握フロー(直接効果と間接効果)

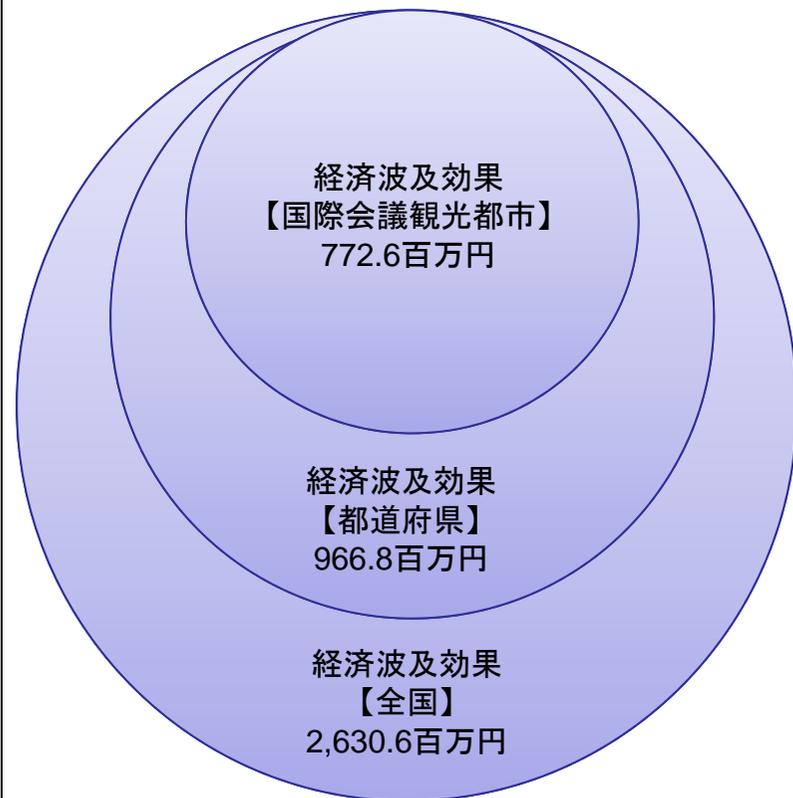
アウトプット



A)直接効果、B)間接1次波及効果で生み出された需要により雇用者所得が拡大する

■今回、全国だけでなく都道府県及び国際会議観光都市を対象として、地域別の経済波及効果が算出できるよう同モデルの機能を更新・拡張した。

1. 経済波及効果の単位として、「全国」のみの算出から、「全国」・「都道府県」・「国際会議観光都市」別一括して算出が可能。



アウトプットのイメージ

2. 経済効果を算出するMICEタイプのうち、国際会議を3区分に細分化。

【MICEの概要】

対象地域

シミュレーション名

※地域で開催されるMICEについて、名称、会期、参加者数、事業費を記入してください。
 ※誤った値や、過去に実施されたMICEと比べて大幅に異なる値を入力した場合、セルがピンク色になります。入力に間違いがないかどうか、もう一度確認してください。
 ※他のエクセルファイルからデータをコピーする場合は、値のみを貼り付けてください。
 ※トップ画面にて「イベント」を選択した場合、事業費の入力が必須となります。

MICE名称	MICEタイプ	会期(開催期間)		参加者数(1日あたり)			展示面積(m ²)	主催者事業費(千円)
		開始日	終了日	日本人日帰	日本人宿泊	外国人		
例) ロボットシボ	C (国際会議)-医学系	2014/3/1	2014/3/7	500	400	300	1,400	100,000
1 医療器具	C (国際会議)-医学系	2014/3/1	2014/3/7	500	400	300	1,400	100,000
2	※							
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								

※以下の通り3区分に細分化

- ①C (国際会議)-医学系、②C (国際会議)-科学・自然・技術、③C (国際会議)-その他

3. アウトプットの形式を、計算結果の表のみでなく、分かりやすく図示。

1. 生産誘発額・就業効果

指標	全国	神奈川県	箱根町	単位
1.1 経済波及効果(1+2+3)	2,630.6	966.8	772.6	百万円
消費費額	1,230.4	1,230.4	1,230.4	百万円
1) 直接効果	1,186.8	651.3	557.1	百万円
2) 間接1次波及効果	865.0	173.2	115.1	百万円
3) 間接2次波及効果	578.8	142.3	100.4	百万円
1.2 粗付加価値誘発額	1,441.5	574.8	468.0	百万円
1.3 就業効果	54,416.0	25,572.3	21,269.3	人・日

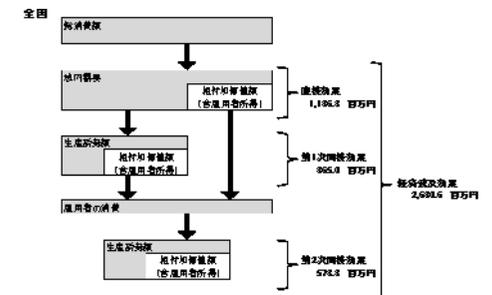
(内)MICE関連主要業種への経済波及効果

指標	全国	神奈川県	箱根町	単位
宿泊業	58.4	53.6	53.1	百万円
飲食店	136.0	123.2	131.7	百万円
対事業所サービス業	1,008.9	477.7	417.6	百万円

2. 税収効果

指標	全国	神奈川県	箱根町	単位
国税	116.8	36.6	32.0	百万円
都道府県税	34.1	17.1	14.1	百万円
市町村税	27.8	17.4	14.5	百万円

シミュレーション名
サンプル試算



地域別簡易測定モデルの構成

- MICEは、Meeting, Incentive, Convention, Exhibition & Eventから構成される。それぞれのMICEによって開催形態が異なっており、それを考慮して経済波及効果を算出する必要がある。
- 各MICEの特性、併催の可能性などを考慮して、簡易測定モデルは3タイプから構成している。

モデルタイプ	モデル構築のポイント	利用者と想定される利用シーン
企業コンベンションモデル - Meeting - Incentive	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模な企業イベントの誘致支援ツールとして構築。 ○企業が実施主体となるミーティング (Meeting) とインセンティブ・トラベル (Incentive) は同時に実施される場合も多いため、統合型のツールとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者 <ul style="list-style-type: none"> ➢ コンベンションビューロー ➢ 地方自治体 ➢ 施設管理者 等 ○利用シーン <ul style="list-style-type: none"> ➢ 企画、誘致時の予測 (誘致補助制度の説明資料作成等) ➢ 誘致成果の確認 ➢ 誘致企業に対するPR資料
国際会議・見本市・展示会モデル - Convention - Exhibition	<ul style="list-style-type: none"> ○団体・自治体等が開催主体となる国際会議 (Convention) と見本市・展示会 (Exhibition) は併催される場合も多いため、統合型のツールとした。 ○国際会議 (Convention) が展示会を併催する際にも対応できるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者 <ul style="list-style-type: none"> ➢ コンベンションビューロー ➢ 地方自治体 ➢ 施設管理者 等 ○利用シーン <ul style="list-style-type: none"> ➢ 企画、誘致時の予測 (国際会議等の誘致等に向けた予算獲等の説明資料作成など) ➢ 開催・誘致成果の確認 ➢ 主催者、出展者に対するPR資料
イベントモデル - Event	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントは、文化イベント、スポーツイベント、祭り、博覧会等、様々なタイプが想定されるため、別モデルとした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 観光・文化振興機関 ➢ 地方自治体 ➢ 施設管理者 等 ○利用シーン <ul style="list-style-type: none"> ➢ 企画、誘致時の予測 (イベント誘致、地方博覧会企画時の予算説明資料作成など) ➢ 開催・誘致成果の確認 ➢ 地域振興策検討の基礎データ

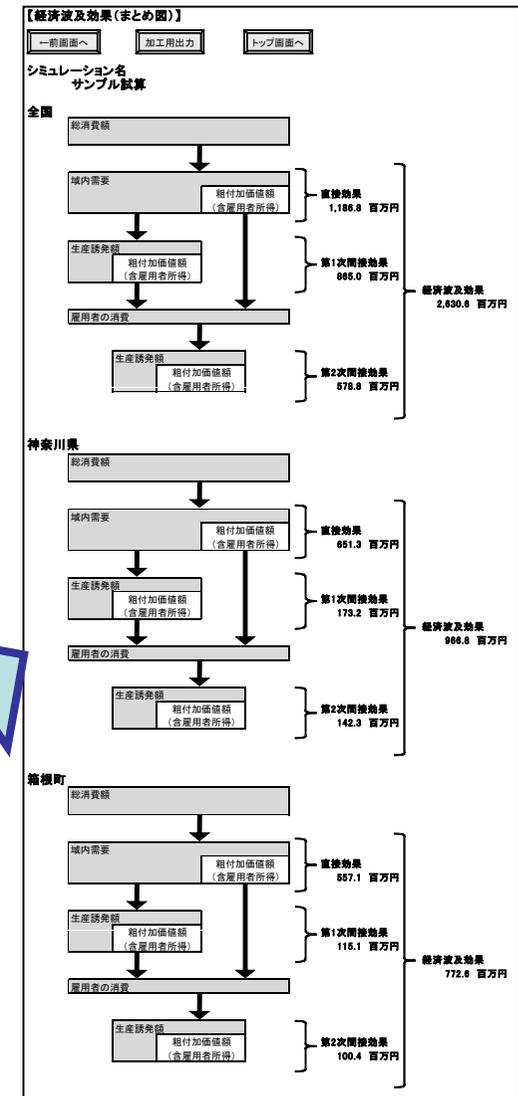
地域別簡易測定モデルの基本的な流れ

■地域別簡易測定モデルは、①データ入力、②効果算出条件の確認、③地域別産業連関表に基づく効果の算出／アウトプットの表示、という3つのパートから構成され、簡単な入力項目に基づき、MICEによる直接効果及び経済波及効果を把握することができる。

【簡易測定モデルの基本的な流れ】

①データ入力	②効果算出条件の確認	③産業連関表に基づく効果の算出／アウトプットの表示
<p>■MICEの基本情報</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用するMICEモデル 催事名、催事分野、会議日程 日本人、外国人参加者 展示面積、主催者面積 等 <p>■開催地域の特性等</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催都道府県 開催都市 等 	<p>■消費原単位の算出、確認</p> <p>■地域別消費額の算出、確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業費 日本までの渡航費 国内移動費、都市内移動費 宿泊費 飲食費 観光・娯楽費、土産・買物費 	<p>■産業連関表に基づく経済波及効果等の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接効果 間接1・2次波及効果 粗付加価値誘発額、就業効果 <p>■税収効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 国税、地方税 <p>■波及効果のまとめ図</p>

【経済波及効果(まとめ図)画面】



データ入力

モデル選択 → 地域選択 → MICEデータ入力 → 日系エアライン利用率・消費税率入力 → 消費原単位の設定

① 都道府県の選択 ※都道府県を選択してください。 (北海道)

② 都市の選択 ※国際会議観光都市を選択してください。 (札幌市)

効果算出条件の確認

産業連関表に基づく効果の算出/アウトプットの表示

【経済波及効果試算の前処理条件:参加者数と支出額】

参加者数	日本人	外国人	合計
参加者数	700	300	1,000
展示面積	700	300	1,000
主催者面積	700	300	1,000

【MICE関連主要業種への経済波及効果】

業種	全国	北海道	札幌市	単位
11 宿泊業	4,417.7	879.2	2,033.5	百万円
12 飲食業	659.6	659.6	659.6	百万円
13 娯楽業	634.8	634.8	634.8	百万円
14 観光業	439.9	439.9	439.9	百万円
15 交通運輸業	337.8	168.9	116.9	百万円
16 情報通信業	795.2	544.6	488.2	百万円
17 製造業	30,677.6	24,826.9	18,114.6	百万円

【MICE関連主要業種への税収効果】

業種	全国	北海道	札幌市	単位
11 宿泊業	43.5	47.2	45.6	百万円
12 飲食業	103.9	99.5	103.9	百万円
13 娯楽業	4,891.1	4,891.1	3,795.5	百万円

基礎データ

(事例1) 医学系学会
 開催期日: 2012年
 開催都市: 横浜市
 開催日数: 4日間
 参加者: 3,588名(海外2,223人)

地域別簡易
測定
モデルで試算

(事例2) 技術系年次例会
 開催期日: 2012年
 開催都市: 京都市
 開催日数: 7日間
 参加者: 1,367名(海外959人)

地域別簡易
測定
モデルで試算

(事例3) 科学系国際会議
 開催期日: 2012年
 開催都市: 奈良市
 開催日数: 6日間
 参加者: 403名(海外218人)

地域別簡易
測定
モデルで試算

(事例4) 医学系学会
 開催期日: 2012年
 開催都市: 福岡市
 開催日数: 5日間
 参加者: 3,217名(海外1,886人)

地域別簡易
測定
モデルで試算

試算結果

経済波及効果、就業効果
 : (全国) 10億7,700万円、23,940人・日
 : (神奈川県) 4億1,500万円、11,255人・日
 : (横浜市) 4億900万円、10,073人・日

経済波及効果、就業効果
 : (全国) 9億7,400万円、21,983人・日
 : (京都府) 4億1,500万円、11,347人・日
 : (京都市) 3億2,800万円、9,174人・日

経済波及効果、就業効果
 : (全国) 1億4,800万円、3,417人・日
 : (奈良県) 5,100万円、1,579人・日
 : (奈良市) 3,700万円、1,229人・日

経済波及効果、就業効果
 : (全国) 8億8,500万円、19,788人・日
 : (福岡県) 5億3,300万円、13,237人・日
 : (福岡市) 4億1,500万円、8,923人・日

※ 実例の国際会議をモデルに、基礎データに推計を加えた上で、地域別簡易測定モデルにより試算したものの。